

高社小学校説明会 顛末書

名 称	高社小学校説明会(第2回目)
日 時	令和元年5月21日(火) 午後6時30分～午後9時22分
会 場	平岡小学校 体育館
参加者等	<ul style="list-style-type: none"> ・一般参加者数(準備委員会委員含む) 86名 ・報道関係 1者 ・教育長、教育委員及び事務局職員等 17名
次 第	<p>進行：花岡教育次長</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 あいさつ(小嶋教育長) 3 説 明(宮嶋学校教育課長) 4 質疑応答 5 閉 会
主な質問・意見等(要約)	<p>《科野地区 男性》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 前回の説明会で通学路が示されたので自身で通学路を確認した。除雪についても問題はないとの回答であったが、道路の幅員が狭いため、除雪機が本当に入るか疑問に感じた。資料に安全上問題はないと記載してあるが、安全とは何をもって安全と言っているのか。 <ul style="list-style-type: none"> → 通学路における交通量や交差点、民家の有無など確認しており、除雪に関しては、今冬に確認した中では、除雪はされており、歩くことに支障はないことを確認している。 ● 通学方法・通学路は決定ということか。 <ul style="list-style-type: none"> → お見込みのとおりである。 ● 前回の説明会で市道平岡10号線における歩道設置に関し、予算として調査費が計上されているとの回答であったが、歩道設置に関してどういう調査をし、どういった結果が出たのか。 <ul style="list-style-type: none"> → 担当部署において財源の確保や優先順位等ある中、教育委員会等では一日も早く歩道が設置できるよう要望している。歩道設置にあたり、地質や道路構造の調査等考えられるが、今年度、具体的な絵になってくるのではないかと期待している。 ● 指定された通学路を通過して何かあった場合、市は安全確認がとれていることを果たして言えるのかと思う。また、市道平岡10号線の歩道設置に関し、いつまでに設置するといった期限を示すことは可能か。 <ul style="list-style-type: none"> → 担当部署において、国の補助金など色々な形で予算措置をしていく中で、秋頃に公表される市の実施計画をみていただければ、事業計画が明確になると考える。 ● 歩道を設置したらどれだけの児童が通るかなどの費用対効果的なことも設置基準に含まれるのか。 <ul style="list-style-type: none"> → 通学だけのことであればバス通学などの方法も考えられるが、学校が休みのときなども含めて、子どもたちの活動範囲が広がるというメリットがある中、安全な基盤整備が必要と考えているため、決して費用対効果という観点からは考えていない。 ● 是非、費用対効果ということは除いて、早急に歩道が設置されるよう要望したい。 <p>《倭地区 女性》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 路線バスを積極的に進めるべきという意見で、もちろん路線バスは例えば自分が免許を返納したときにバスが無かったり、運賃が高かったりすれば使えないので、とても大事なことだとは思いますが、一番混み合う時間帯に児童を押し込んでそういうことをさせなくてもいいのではないかと思います。例えば子供に利用促進の一助を担わせるのであれば地域の学習の中にスクールバスを使ってとあるけれど、子どもに路線バスに乗せてどこかへ行こうかなどを計画させるなどそういう利用の仕方もあるのではないかと

と思う。通学バスの運行計画について準備委員会で検討はしてきていると思うが、スクールバスの人数的に乗車できる方法もあると思うがだめなのか。

- 準備委員会ではスクールバスに限らず、路線バスも区内を運行している中、検討をお願いし、総合的に判断した中で、今回の決定に至った。補足資料の考察に記載しているが、スクールバスと路線バス共に安全であると考え、それぞれの交通用具のメリット等を検討する中、路線バスが活用できる児童については、学校の閉校日等にも路線バスを使用し学校等で仲間と遊ぶ等の際に交通手段としても有効であるほか、社会性を身に着けるといった教育的な見地からも路線バス活用は有効であると考え。準備委員会でも協議した中で、朝の混み具合とかも配慮して低学年はスクールバス、高学年は路線バスとした結果に至った。
- 2台のスクールバスで対応できるのにも関わらず、路線バスにおける定期代とかの補助もすることになってしまうがどうか。
 - 全部をスクールバスにした場合には3台必要になる。
- 下校の際、倭地区にだけ行くバスは見晴らし街道を通過して、JAのところで県道へ出て、岩井入口に行き、戻ってくる形にすれば、歩道がある側で下車できるので、そうすると交通量の多い県道を渡ることはしなくてもよいので、児童クラブへ通う保護者の人が心配していたが解決するのでは。また、スクールバス2台で児童を運べないこともないと思うがどうか。(以降、詳細な提案有り)
 - この場では回答できないので、検証してみて、良い面があれば取り入れていきたいと思う。

《科野地区 男性》

- 本年1月に越区の有志から、越区児童の通学方法は、スクールバスを認めてほしいと要望したが、どのような検討を行い、今回の決定に至ったのか。
 - 通学については、時間的制約を受けなくて体力づくりも考慮される徒歩通学が最も理想だと考える中、要望の内容については、現地を確認したうえで、安全上問題はないことを確認し、また、他の学校区でも同様な場所を通学している児童はいるが、特に問題があるといったことはないとのことからである。
- 特に東越の児童について、当面の間、低学年はスクールバスにするなど臨機応変な対応はできないか。
 - 特に低学年の児童の体力面での疲労も憂慮されることも考えられ、例えば、疲労困憊で授業がままならないようであれば、状況を確認したうえで、学校や保護者等と相談し、バス通学にした方がいいのかなど検討していきたいと考える。
- 放課後児童クラブについて、当面は各地区にある児童クラブを継続して運営することだが、子どもの声が無くなってしまふと地域としても寂しいところがある。様々な意見などがあると思うが、できるだけ地域に残すことを検討してほしい。
 - 平成29年度に保護者を対象にアンケートをしたところ、今までどおり地区別にしてほしいという意見もあれば、学校の近くに迎えに行くので、高社小学校の近くにしてほしいといった保護者の意見もたくさんあった。学校が統合して、昼間は学校で一緒に過ごす友達が、放課後は別々な場所で過ごすことよりも、放課後も一緒に過ごした方がよいと考える。
- 通学方法で、行政区が隣接する部分に居住する児童については、保護者の希望に沿った通学方法にするなど柔軟な対応をお願いしたいがどうか。
 - どこかで線引きをしなければいけない中、個別なケースに関しては、実態調査をしないと明確なことが言えない。まずは、今回示した通学方法の大原則をご理解いただきたい。

《科野地区 女性》

- 修学旅行について、6月に行う計画となっているが、新しいクラスになって間もないため、秋の方がよいと考えるがどうか。
 - 初年度の運動会や音楽会を2学期に予定している関係や全体的なことを考慮し、6月に計画をしている。新しいクラスになって間もないとのこと心配さ

れていると思うが、そこに至るまでの中で、友達がつくられ、また、学校行事などを通して仲良くなっていくような学級づくりをしていきたいと考える。

- 子どもがクロスカントリーのクラブに所属しており、冬場、科野小学校のグラウンドでナイター設備を使用し雪上練習をしているが、閉校後に施設を使用するにはどう働きかけをすればよいか。

→ どの部署へ相談すれば対応してくれるかも含め、もう少し具体的に示し、皆さんに周知していかなければならないと考える。また、担当部署において、市民の方に対し、どういった活用方法がよいかなどといったアンケートを行うとのことを聞いている。アンケートでご自身や地域の方の意見を市に届ける方法もあれば、個別に担当部署へ伝える方法もあると思うが、いずれにしても市民の皆さんへ意見を聴く機会は設ける。

《平岡地区 男性》

- 湯本工務店前の交差点は事故が多いため、信号機を設置していただきたい。
 - 当該箇所は通学路には指定されていないが、休校日などは子どもが通ることもあるため、学校を通じて安全指導などを行いたいと考える。また、地元の小学生からも信号設置の要望がある中、交通安全の担当部署や警察などと検討した結果、当該箇所は、様々な理由で信号の設置は困難な場所と聞いており、信号を設置しない代わりにどういった方法があるかを検討している。
- 高社小学校区全体をみても、外灯が少ないと思うため、外灯の増設をお願いしたい。
 - 外灯が必要な場所については、警察など関係機関を交え通学路の安全対策を協議する会議の際や、各区などとも話し合っ確認していかなければいけないと考える。また、学校では交通安全や防犯の観点からどこが危険かを調査しており、それに基づき、安全対策を協議する会議の中で、交通安全や防犯に寄与するためにはどういった方法がいいのかを今後も検討していきたい。
- 閉校後の小学校について、災害時は小学校が避難所になるので、老朽化などさせずに、実際に使う設備だけは残して、維持管理していただきたい。
 - 閉校後の施設の管理については、避難所のことなど様々な問題はあがるが、最低限の設備又は施設等が残るよう要望があったことは担当部署へ繋げておく。
- 越の徒歩通学について、体力がない低学年が長距離を歩くことになるため、スクールバスでの通学を要望したい。

《科野地区 男性》

- 越区からスクールバス通学の要望が提出されている中で、どのように安全を確認したか示されていないため保護者としては不安である。資料にも徒歩ルートが示されていないので、どこを歩いて通学すればよいかかわからないし、どこが安全でどこが危険などもわからない。平岡小学校の児童も、現在、そこを歩いているかもしれないが、歩道も無ければ幅員も狭いため、どういった形で子どもが通るのかイメージがつかない。また、他市では、通学路の安全のために、グリーンベルトなどといったもので対応しているところもある。歩道が設置されるなど安全が確保されるまでの間、スクールバスや路線バス通学も一つの方法だと思うが、まずは、どういった経緯で安全確認をしたのか説明してほしい。
 - 徒歩の通学ルートの経路図については、保護者へは5月中に学校を通じ、また、地域の方へはホームページなどでも周知していきたいと考える。通学路については、現在、各学校において指定されているものがあり、実際にそれを繋ぎ合わせていくと、新しく通学路として指定が想定される箇所は僅かである。そういったことも踏まえ、現在、指定している通学路であることや、教育委員会でも実際に現地を歩いて安全を確認してきている。ただ、安全が確認されているとは言え、地域の方に見守りをお願いしたりするなど、地域の方の協力は必要になると考える。その他、グリーンベルトなどについても、バスを下車する箇所などへの設置も検討している。
- 5月中に徒歩ルートが提示されるとのことだが、提示されたら保護者としてもルートを確認したうえで、色々と問題点が出てくると思うので、提案などはさせていただき

たいと思う。越は通学距離が徒歩圏内だから、バス通学から外すという考え方ではなく、行政区境の児童は、バス通学の児童と比べ、それ程距離も違わないため、是非、柔軟な対応をお願いしたい。

→ 柔軟性の問題は、色々な課題はあるが、必要な都度、考えていきたいと思う。他県で悲惨な事故の発生があった中、通学に関して、大変心配されていると思うが、関係機関が集まって安全対策を協議する会議があるので、そういった会議の場でも、こういった対策がとれるか検討していきたいと考える。

《長丘地区 男性》

● 先ほどから、保護者の方が子どものことを思い様々な意見が出ていることは理解できるし、教育委員会においてもどこかで線引きをしなければいけないことも理解できるが、安全面に関して言えば、バスでも徒歩でも子どもの通学時間帯に合わせて安全協会や地域のボランティアなどをお願いできるように対応していただきたい。

→ 通学時間帯に合わせてとのことについては、安全協会を担当する部署もあるので、意見があったことを繋げていきたいと考える。

● 学校が開校して、早い段階で個々の問題点を拾い上げていただき、地域のボランティアなどを通じて確認をとっていただきたいと思う。

→ 必要な都度、修正を加えたり、意見を聞いたりしながら対応していきたいと考える。

《科野地区 男性》

● スクールバスと路線バスを低学年と高学年で分けることについて、ただでさえ子どもが少ない中、通学方法を分けたことにより、独りでバス停から帰ることが増えるリスクを負ってまで、通学方法を分ける必要があるのかと疑問に思う。

→ 低学年に配慮したことや、路線バス・スクールバスそれぞれのメリットを考慮した中、登校時については、最大で10分程度時間差が生じてしまうが、帰りについては、学年によって下校時間が異なることや、多様なこともあるといったことも踏まえ、通学方法の大原則を決定した。なお、今後5年間の児童の推移をみても地区によっては児童が激減する部分もあり、この先ずっとこのままの形でいくとは限らないと考える。

● 下校時について、心配であれば保護者がバス停まで迎えにいきなさいということか。

→ 御意見のようなことではなく、地域のボランティアの方など、あらゆる形の中で登下校の見守りについて取り組んでいきたいと考える。

《倭地区 男性》

● 資料に参考として記載してある長嶺区児童の路線バス通学のことについて、長嶺区の場合は保護者要望に基づき全学年の児童を路線バスでの通学にしたとの記載があるが、保護者の要望というのはこういった形で学校に伝わり、学校から教育委員会に伝わり路線バスがいけるという具合になったのか。また、現在倭地区では区長会と保護者会で、全学年スクールバスでという要望を提出しているが、それと長嶺区の要望とはどう違うのか。保護者の要望が基礎となっているのか。

→ 長嶺区については、3 km以上ある場合の冬場の交通用具は認めてきている中、保育園バスを用いてスクールバスとして活用してきた。しかし、登校時は乗車するが、帰りは、各々、児童クラブや塾に行ったりするため、スクールバスから路線バスに変更してほしいとの要望や、更には、年間を通して、路線バスでの要望もあった。倭地区の要望が受け入れられないかということではなく、準備委員会や教育委員会でも、スクールバスと路線バスそれぞれのメリットを検討する中、また、色々な立場の方から御意見をいただく中で、総合的に判断した結果、今回の大原則の決定に至った。長嶺区からの要望も両方の意見はあったが、検討する中で、現在、地区を運行している路線バスの方が有効であると判断したということであり、単純に要望どおりにしているのではなく、それぞれの背景や経過、課題や学校の授業への影響など総合的に検討した中で決定している。

- 補足資料のスクールバスと路線バスの形態をみると、全員それぞれ捉え方は異なると思うが、私自身はスクールバスの方が良いと思う。しかしながら、考察には路線バスの方が強調されていると思うがどうか。
 - それぞれの特徴を記載しており、その中で考察として準備委員会等でも出た意見も参考にまとめさせていただいたものである。
- 倭地区や科野地区の方では、通学方法について納得していないところがあると思うが、再度、説明会を開催する予定はあるか。
 - 今までの説明したことなどと繰り返しになってしまうが、準備委員会には、色々な立場の人が入っており、そういう方々と通学について協議をしてきた。意見については、保護者会や区長会からの意見のほかにも個人の方からも意見があり、質問者が言われたことの真逆の意見もある。そういったことを準備委員会の方へも伝え、何度も検討してもらい、通学方法などをまとめた報告書を教育委員会へ提出いただいた。教育委員会でも各方面から出された様々な意見を復習しながら考えたうえで、準備委員会の報告を尊重して、教育委員会として大原則を決定した。
- そうすると説明会は開催しないということか。それと準備委員会の意見を尊重したとのことだが、保護者や地域の意見は尊重されないといったことか。
 - 皆さんそれぞれ意見があり、全部の意見を聞いて、全て応えていくには、難しいので、そこは譲り合いと調整で対応してきたので御理解いただきたい。また、再度の説明会の開催については、いつ開催するかなど教育長だけでの判断で回答できないので、教育委員会で協議させていただきたい。
- 今年度中に説明会を開催してくれるか。
 - 第1回目の説明会でも様々な質問等があった中、口頭或いは紙面で説明しなければいけないと個人的に思っているところもあるが、それに対しては、繰り返になるが、教育委員会で協議させていただきたい。
- 説明会を開催するとすれば、年度末とか開校間近に開催するのではなく、早急に開催してほしい。
 - 説明会を開催するとなった場合は、年度末に開催ということはない。

《倭地区 男性》

- 中野市立小学校及び中学校適正規模等基本方針の説明会のとき、倭地区はスクールバスにするから賛同くださいということで、倭地区はその言葉を信じて統合に賛成した。倭地区ではスクールバス通学以外の声が聞こえてこない。おそらく、同じ地域に居住している教育長の耳にも入っているのではないかと、立場上この場では言えないと思うが、言葉でも民間でいえば契約ですよ。スクールバスを出すという提案をされて倭地区は統合に了承した。今回の決定にある低学年と高学年を分けて通学させられことなど、そのときに誰も思っていない。倭地区全員の要望を受け入れられないのであれば、統合の話は、無かったことになるのでは。私自身、役人の考え方がわからないが、民間では口で約束したことも契約です。これが履行されなければ、統合は無いのでは。統合は白紙に戻した方がいいのでは。
 - 基本方針の説明会の際、スクールバス通学を約束したと言われているが、スクールバスという言葉を出したのは事実であり、スクールバスで対応できるものは対応したいというような話はした。しかしながら、これから準備委員会で細部に渡り検討していく前の段階である当時の時点では、スクールバスに限らず色々なことが約束できない段階である。準備委員会では通学・安全部会のほかにも相当細かいところを協議していただき、まとめていただいた報告書が教育委員会に提出された。教育委員会では、それらを尊重して今回の決定に至った。統合白紙だということを質問者がおっしゃっていたが、今までの経過等も踏まえて、御理解いただきたい。
- 意見は参考にするだけであって、決定するのは教育長ですか。
 - 教育委員会で方向性を出すとなると、教育委員会は合議制のため、教育委員一人ひとりが承知しないといけない。
- 教育委員会の中において多数決で決めているのか

→ 合議制のため多数決では決めていない。一人でも疑問に思った場合は、何が疑問かをやりとりするなど、内部ではそういうことを協議している。

- 多数決で決めていないとなれば、誰か力のある人が、路線バスでという意見をもって、それを押しているのでは。

→ そのようなことはない。

《倭地区 男性》

- 基本的には、説明いただいたグランドデザインの内容で良いと思っているが、理解しがたいところもある。これまでの経過のところ、教育環境の整備と教育の質の一層の充実を目的とした適正規模と記載があるが、グランドデザインの説明を聞いたあとで整理してみると、教育環境の整備というのは、統合やICT教育のことが入ると想定される。教育の一層の充実を目的とした適正規模というのがわからない。令和2年度は各学年2クラス以上となるが、現在、少子高齢化が進んでいて、20年もすればもっと児童が減り、そうなった場合、今の適正規模なんて確保できないと思う。これから20年後は約7割程度の児童数となると想定され、特に北部地区では、倭地区が先陣をきって減っていくと思う。そういった中、統合は質の向上をベースに考えて統合すると思っていたら、基本的に各学年2クラス以上確保のことが強調されている。今後20年もすれば児童が減って、2クラス確保できない状況になると想定される。教育というのは100年の計で考えるべきものだとすれば、そういった状況の変化によらないものを求めるものが必要だと思う。基礎学力の向上については、確かに難しいことだが、先生方も努力されていると思う。自然を理解するとか地域の自然のよさを理解して地域の自然に触れ合うことが教育の基礎であると考え、教育の理念として複数クラスの編成が実現できたからといって喜ぶものではないと思う。時代の変化に左右されない質の向上、こういったものをどこかに書いて残して高社小学校がスタートすればいいと思う。それと、基本方針の中に、将来に向けて小中一貫校の調査研究を行うとあるが、小中一貫については、小中ギャップの克服が必要と思う。

→ 20年後、30年後の児童数減少については、深刻な問題として受け止めている。グランドデザインにある目指す児童の姿に、ふるさとで共に学び働く児童とあるが、ふるさとの文化や自然を体験していく中で、子どもたちの夢を育み、小学生なので将来の設計というのは夢に描いたようなものであるが、しかし、そこで体験したことがいつか大きくなったときにふるさとで生きていく姿に繋がっていくような教育課程を考えていきたいと思う。小中ギャップの克服については、そういった視点もいずれはいれなければならぬと思う。グランドデザインは開校初年度のもので、今回の案を基に色々な角度から御意見をいただいて良い学校を作り上げていきたいと思う。

《科野地区 男性》

- 越から高社小学校まで徒歩通学となると通学距離が延びるので、トイレの設置をお願いしたい。

→ トイレの設置は考えていないが、安心の家などではトイレの利用ができる。

- お試し登校の際、この家ならトイレを借りることができるなどといったことも教えてもらうことは可能か。

→ 何らかの形でわかるようにしたい。

- 集団登校の集まる時間などはいつ頃わかるのか。

→ 集団登校は北部4小学校でも通年実施している学校とほとんど実施していない学校があり、集団登校を実施するかしないかは学校の中でも様々な意見がある。集団登校をしていたために多くの犠牲者が出たとの事例があったりするので、通学路の状態をあわせて考えながら、これからの検討になる。したがって、今すぐに何時にどこに集合ということは答えられない。

- 独りで通学することもあり得るのか。

→ 子どもたちの安全というのは、交通安全も含めて、学校では、小学1年生から自分の身は自分で守るというのを大原則にして教えている。これからの時代や今の社会の状況をみてもらえば理解できると思うが、周りがどうにかして守るんだということよりも、自分の身をどう守るんだということを大人が小さい時

から教えなければいけないような状況になっていると思うので、独りで通学する可能性はあり得ることだと考える。

- 例えば、独りで通学している際、通行人などそれ程いない冬場の農道で、滑って足をひねり動けなくなってしまうたら、数時間そのままの状態になるのか。
 - 可能性としてあり得ることである。他県で子どもが下校途中で誘拐された事件があったが、当該箇所は人通りが多いところであり、全くそういう事件が起こることを想定していないところでも、痛ましい事件が起きる時代になっているので、非常に細かいところまでカバーするのは難しい状況だと考える。
- お試し登校はいつ頃予定しているか。通学時間帯に実施してもらいたいのと冬期間もお願いしたい。
 - 全体では3月に実施予定であり、それ以外にも早い段階から地区の実情に応じて、実施したいと思うし、必要であれば、複数回実施したいと思う。具体的な日程は現時点では決定していない。
- 登下校の際、何かあった場合、通報や助けを呼ぶ方法は無いのか。
 - 統合前の現時点でも、登下校で何かあるという可能性は起こり得て、それについては、各学校で登下校の決まりであるとか、こんなときどうすればいいかなどを児童に話していると思う。登校で数時間も学校に来なければ連絡もするし、探しにも行く。家にいつもの時間に帰って来なければ学校に連絡してほしい。そういったところで、十分に対応できると思うし、数時間も泣いて待つことがないよう、保護者の方とも一緒に考えていきたいと思う。